

# 2020年度 法科大学院

## 第5期入学試験問題

### 2時限

### 民法

### (論文式)

## 試験時間 50分

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。
11. 平成29年改正(「民法(債権関係)改正」)および平成30年改正(「成年年齢引下げ」および「民法等(相続法)改正」)の民法(以下「改正民法」という。これに対し、改正民法以前の民法を「改正前民法」という。)に基づいた出題を行います。ただし、改正民法または改正前民法のいずれに基づいて解答してもよく、改正前民法に基づいて解答しても不利とならず、減点もしません。

## [民法]

### 設問

Yは、自己が経営する会社の運転資金として融資を受けたいと考え、Aに対して、融資先を探すこと、および融資先が見つかったら、融資契約を締結すること、そして、その融資から生ずる債務の担保のために、自己(=Y)所有の甲土地に抵当権を設定することを依頼し、Aに登記関係書類、実印、受任者および委任事項欄を空欄にした委任状を交付した。

Aは、融資の交渉にあたったが、残念ながら、融資契約の締結には至らなかった。そこで、Aは、Yから交付された登記関係書類、実印、委任状をYに返却するため、それらの返却をAの配偶者Bに依頼し、登記関係書類、実印、委任状をBに交付した。

ところが、Bは、Aから受け取った委任状の受任者欄に自分(=B)の名前を記入し、委任事項欄に「甲土地の売却に関する一切の事項」と記入し、これをXに示して、Yの代理人として甲土地をXに売却した。

そこで、Xは、Yに対して、甲土地の引渡しおよび登記の移転手続を求めた。Xの請求が認められるかを検討しなさい。

なお、問題の検討にあたって、場合分けが必要な場合には、場合分けをして答えなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)